



February Newsletter

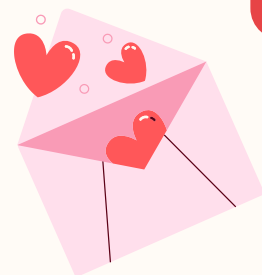
February 2026 | Vol. 5



わたしが子どもの時通っていた教会学校での賛美の中に、「でも、神様は変わらないよ 大きな愛で君のこと、包み込んで変わらないよ、神様の愛は」という歌詞のある賛美を習いました。大好きな賛美でした。

大人になった今、Davar教会に導かれて、神様の不変の愛というのがどんなに素晴らしい希望であるかを教わり、その愛の大きさ、深さを前よりもっとわかるようになりました。変わらない神様の愛に感謝します。

神は実にそのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者がひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである(ヨハネ3:16)。



私の罪が赦され、神様の子どもになったことを感謝します。いつも心の中に住んでくださり、どんな時、どんな場所に行っても共に居てくださる神様の愛を知って、平安があり、将来に希望が持てる様になったことを改めて、教会に通い始めてあつという間の15年でしたが感謝致します。これからはさらに毎日の生活を大事にして、周りの人たちが父なる神様、イエス様を見る生き方をしていきたいです。

ダヴァール教会に導かれ、神様、イエス様の愛のことを教えてもらいました。神様は共にいてくださり、いつも変わらない愛を与えてくださっていることを知りました。感謝です。みことばを読むと神様の愛がそそがれています。神様が導いてくださり、みことばで養ってくださっていること感謝します。



私は日本で長女として育ち、「こうあるべき」という期待の中で生きてきました。周りにどう思われるかを気にして、本当の自分をどこか抑えて成長しました。

でも、イエスさまが私の罪のために十字架にかかり、復活してくださったと知ったとき、心が変わり始めました。私が何かできたからではなく、まだ神さまを知りもせず、自分のしたいことをしている罪人であったときに、すでに愛して下さっていた——その愛を知り始めました。

完全ではない私を、そのまま受け入れてくださる神さま。このままの自分でいいんだ、という思い。その愛を知って、私は少しずつ自由になり、自分自身でいることを喜べるようになりました。

神さまの愛は、私が神さまを愛するずっと前から、私を包んでいました。

小さい頃、母が病気で亡くなり父は仕事で忙しく子供の頃からずっと心に寂しさがあり幸せになりたいと願って生きてきました。アメリカに来て結婚して子供が与えられましたが夫婦関係に悩み自分の力ではどうにもならずダヴァール教会へ導かれました。そこで牧師婦人をおして神様は私が生まれる前から私を愛して下さっていたことを聞き、喜びで満たされました。牧師家族が私たち家族に必要なケアをしてくださりそのつど御言葉をとおして教えてくださっていること、牧師家族をみる時いつもそこには神様の愛があります。今が一番幸せだあいつも感謝で満たされます。神様の変わらない愛を感謝します。

